

中学校のあり方と通学路について

学校のあり方検討委員会で



神崎 文男 議員

少子化時代に入り、中学校の統廃合をどう考えるか。

適正配置を検討中

町長

今後、町立学校の適正規模及び適正配置について検討するため、学校のあり方検討委員会を立ち上げ検討している。早い段階での対応を考えていかなければならない。

部活の状況は

神崎議員

少ない生徒数の中で、中学校の部活動の状況はどうなっているか。

町内外の

他の学校と合同で

教育長

大崎中学校が10、大崎

第一中学校が5、菱田中学校が4で、生徒数の少ない学校では生徒がやりたい部活動ができず町内の別の学校へ転校した例もある。部員数が足りないところは町内外の学校と合同で部活動をしている状況である。

学校施設の耐震化は

神崎議員

学校施設の今後の耐震化の計画はどうなっているか。

積極的に取り組んでいる

教育長

平成18年度に昭和56年以前の建築による非木造二階建・二百平方メートル以上の対象建物35棟について耐震化優先度調査を完了した。結果を基に年次の耐震診断計画を策定し、積極的に取り組んでいる。

耐震化の進捗率は

神崎議員

学校施設は児童生徒の安全確保とともに地域住民の災害時の応急避難場所でもある。耐震性の向上は重要であるが、その進捗はどういう状況か。

3割弱の進捗

教育長

現在の進捗率は28%である。対象建物35棟のうち10棟が済んでいる。

学校統合との関連は

神崎議員

耐震補強工事には多大の経費がかかる。中学校統合との関連はどうなっているか。

小学校を優先

町長

耐震化と学校の統合は相互に関連性があるの

で、小学校から耐震化を優先していく。その後、中学校について取り組んでいく。

学校統合の予定は

神崎議員

中学校統合は何年後を考えているか。

4～5年後を考えている

町長

P T Aや地域の方々に十分な説明をして理解を得たうえで、4～5年後を考えている。

通学路の状況は

神崎議員

通学路の点検、整備状況はどのようになっているか。

担当課に協力を

教育長

保護者から情報をいただき危険箇所等があると

きは建設課等にお願いしている。

関係機関の協力も

町長

国道が3路線、県道が7路線、町道が226路線あり各関係機関等で対処している。

民間サポーターの活用は

神崎議員

町内の自治公民館、老人クラブ、企業、ボランティア団体と協定を結び道路の損傷状況の提供や軽微な補修、清掃活動をしてもらうような道路サポーター制度の活用を提案する。

事業等活用し

地域で協力

町長

「ふるさとの道サポート推進事業」を推進し、自分たちの地域で美化活動を行えるように検討してみたい。